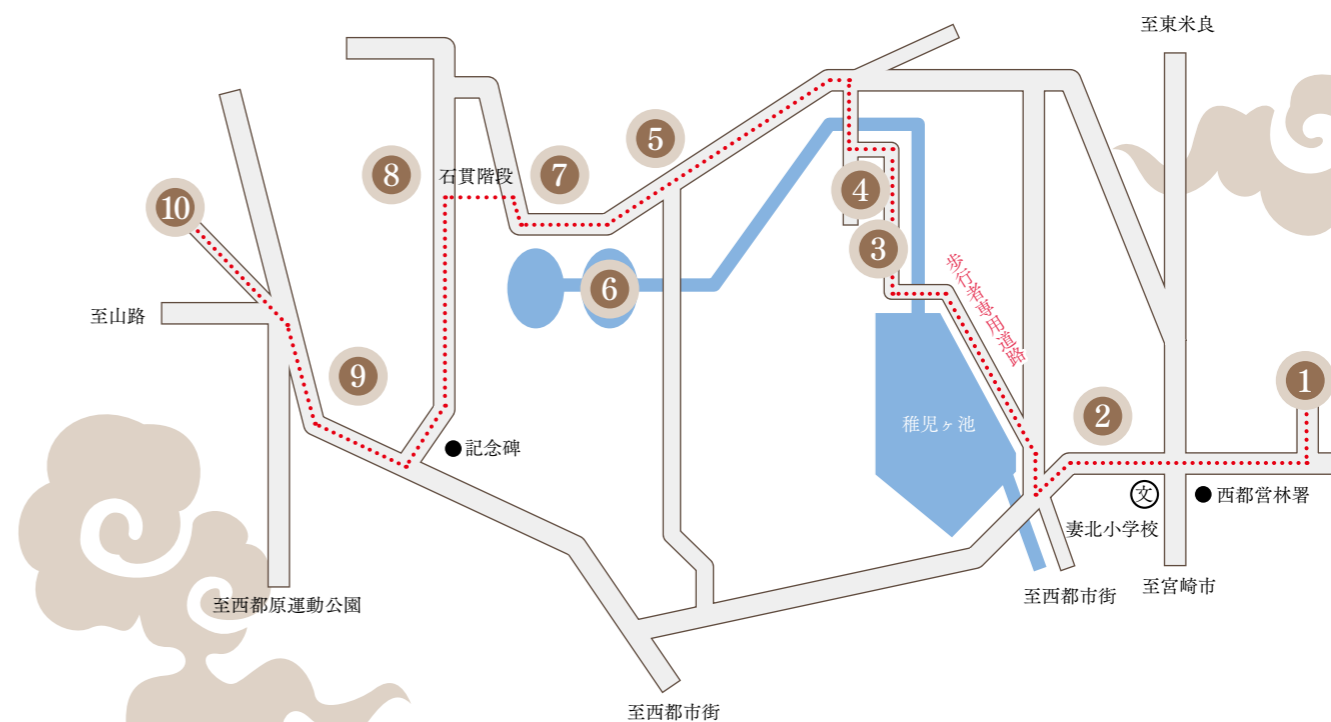


日向神話伝承の地 古代ロマンの旅



日本でも最も古いと云われる『古事記』『日本書紀』には、日本神話の根幹をなす日向神話の事が書いてあります。その伝承の中心になるのは、天孫ニギノミコトとその妃コノハナサクヤヒメにまつわる説話です。この説話の道筋にあるものが神社や神話伝承地であり古墳です。そして本市においてこの道筋となるものが、古事記の「記」と日本書紀の「紀」から名づけた「記・紀の道」です。歩いて一時間の道程(4km)、ロマンの道を楽しんでください。

●記・紀の道「ぎ・きのみち」



- ① 都萬神社 徒歩3分
- ② 御舟塚 徒歩15分
- ③ 逢初川 徒歩1分
- ④ 八尋殿 徒歩5分
- ⑤ 無戸室 徒歩1分
- ⑥ 児湯の池 徒歩5分
- ⑦ 石貫神社 徒歩10分
- ⑧ 大山祇塚 徒歩5分
- ⑨ 鬼の窟 徒歩5分
- ⑩ 男狭穂塚・女狭穂塚 徒歩5分

記・紀の道順路

The Road of Kojiki and Nihonshyoki

You will find ancient ruins with stories written in the books; The Record of Ancient Matters and Chronicles of Japan.

① 都萬神社

日向式内社の一つ。コノハナサクヤヒメが3人の皇子を育てるのにお乳の代わりに甘酒を与えたという伝承から日本清酒発祥の地の碑も建てられています。



⑧ 大山祇塚

オオヤマツミノカミの御陵といわれ伝えている柄鏡式前方後円墳(全長90m)



⑤ 無戸室

一夜で懐妊したコノハナサクヤヒメがニギノミコトに疑われその疑いをとくため戸のない産室をつくり火をかけて3皇子を出産された場所。



② 御舟塚

高天原から高千穂の峯に降臨されたニギノミコトの一行が、海路で奥深い入江であったと伝えられるこの地に到着され、その時の舟が鎮まった所。



⑨ 鬼の窟

コノハナサクヤヒメを嫁にと請う悪鬼が父神のオオヤマツミノカミより一夜で石造りの館を所望され完成させた窟。



⑥ 児湯の池

コノハナサクヤヒメが3皇子の産湯として水を使われた池。「児湯」は現在の児湯郡の地名にもなっている。



③ 逢初川

「古事記」の中でてくる逢初川と伝えられ、ニギノミコトがこの小川で水汲みをしていたコノハナサクヤヒメを見初められた場所。



⑩ 男狭穂塚・女狭穂塚

男狭穂塚はニギノミコト、女狭穂塚はコノハナサクヤヒメの御陵であるといわれています。



⑦ 石貫神社

コノハナサクヤヒメの父オオヤマツミノカミを祭神としています。鬼の窟から投げた石がここまで飛んだといわれています。



④ 八尋殿

ニギノミコトが、コノハナサクヤヒメと新婚生活のために建てられた、縦横八尋(約15m)の御殿の跡。